

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 07-039449

(43)Date of publication of application : 10.02.1995

(51)Int. Cl.

A47H 23/04
E06B 9/26
E06B 9/32

(21)Application number : 05-208850

(71)Applicant : NICHIBEI KAIHATSU:KK

(22)Date of filing : 30.07.1993

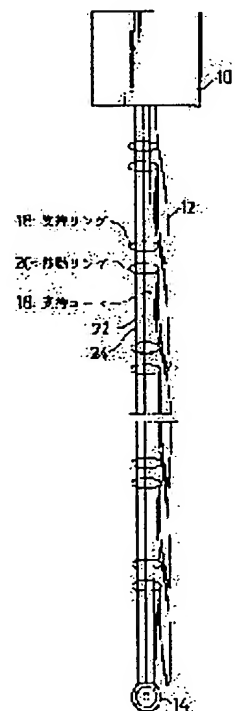
(72)Inventor : NAKAMURA HIDEHIKO

(54) BLIND

(57)Abstract:

PURPOSE: To provide a blind, by which a condition where the outside is seen through and shielding condition can be formed by one blind.

CONSTITUTION: A curtain 12 is translucent in the case of one sheet, but becomes opaque in the case of superposed plural sheets, and its upper end is connected to a head box 10, and its lower end is connected to a weight bar respectively, while it is connected to support rings 16 in the condition of forming a sag at designated spaces in the vertical direction. The support rings 16 are provided at designated spaces on a support cord 18. One end of the support cord 8 is fixed to the head box 10, and the other end thereof is fixed to the weight bar 14. A moving ring 20 is connected to the sag of the curtain 12 between the adjacent support rings 16. The moving rings 20 and the support rings 16 are overlapped on each other alternately and are provided at designated spaces on a moving cord 22. One end of the moving cord 22 is connected to the weight bar 14, and the other end thereof is introduced into the head box 10 elevatably. The curtain 12 is capable of forming a translucent part and an opaque part in compliance with the moving direction of the moving rings 20.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

10.04.1997

[Date of extinction of right] 22.01.2005

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平7-39449

(43)公開日 平成7年(1995)2月10日

(51)Int.Cl.⁶

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

A 4 7 H 23/04

7540-2E

E 0 6 B 9/26

9/32

審査請求 未請求 請求項の数1 F D (全 5 頁)

(21)出願番号 特願平5-208850

(22)出願日 平成5年(1993)7月30日

(71)出願人 000134969

株式会社ニチベイ開発

神奈川県愛甲郡愛川町中津4061-6

(72)発明者 中村 英彦

神奈川県愛甲郡愛川町中津4061-6 株式

会社ニチベイ開発内

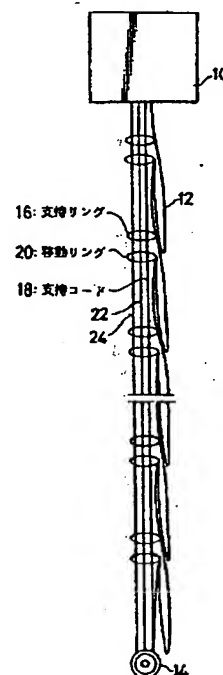
(74)代理人 弁理士 石戸 久子

(54)【発明の名称】 ブラインド

(57)【要約】

【目的】 1つのブラインドで、外が透けて見える状態と遮へい状態とを構成することができるようにする。

【構成】 1枚では半透明であるが複数枚以上重なると不透明になるカーテン12が、上端がヘッドボックス10に、下端がウエイトバー14にそれぞれ連結されるとともに、上下方向に所定間隔をあけてたるみを形成した状態で支持リング16に接続される。支持リング16は、所定間隔をあけて支持コード18に設けられる。支持コード18は、一端がヘッドボックス10に、他端がウエイトバー14に固定される。隣接する支持リング16間のカーテン12のたるみには、移動リング20が接続される。移動リング20は支持リング16と交互に重ね合わせて配置されて、所定間隔で移動コード22に設けられる。移動コード22は、一端が上記ウエイトバー14に連結され、他端がヘッドボックス10内に昇降可能に導入される。カーテン12は、移動リング20の移動方向により半透明部分及び不透明部分を構成可能である。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 ヘッドボックス(10)と、
 ヘッドボックス(10)に上端が連結されるカーテン
 (12)と、
 カーテン(12)の下端に連結されるウエイトバー(1
 4)と、
 一端がウエイトバー(14)に連結されるとともに他端
 がヘッドボックス(10)内に昇降可能に導入される昇
 降コード(24)と、
 一端がヘッドボックス(10)に、他端がウエイトバー 10
 (14)にそれぞれ連結される支持コード(18)と、
 カーテン(12)が所定のたるみが形成された状態で接
 続されているとともに、支持コード(18)に所定間隔
 をあけて設けられている支持リング(16)と、
 を有するブラインド(11)において、
 移動リング(20)と、
 移動コード(22)と、
 を有しており、
 移動コード(22)は、これの一端が上記ウエイトバー
 (14)に連結されるとともに、これの他端が上記ヘッ
 ドボックス(10)内に昇降可能に導入されており、 20
 移動リング(20)は、上記支持リング(16)と交互
 に重ね合わせて配置されるとともに、移動コード(2
 2)に所定間隔をあけてそれぞれ取り付けられており、
 上記カーテン(12)は、1枚では半透明であるが、複
 数枚以上重ね合わせると不透明になるように形成され
 ており、
 カーテン(12)は、支持リング(16)間で形成され
 る上記たるみの所定位置において移動リング(20)に
 接続されている、
 ことを特徴とするブラインド。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、ブラインドに関するも
 のである。

【0002】

【従来の技術】 従来のブラインドは、これを外が透けて
 見える状態及び遮へい状態にしたい場合、薄手及び厚手
 の2種類のカーテンが必要であり、これらのカーテンを 40
 組み合わせて使用している。すなわち、薄手カーテンの
 みを展開して半透明状態にするか、又は厚手カーテンを
 展開して不透明状態にするか、のいずれかにより、外が
 透けて見える状態又は遮へい状態にしている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、上記従
 来のブラインドでは、外が透けて見える状態及び遮へい
 状態にしたい場合、2種類のカーテンを組み合わせて使
 用しなければならないため、使い勝手が悪いという問題
 がある。本発明は上記課題を解決するためのものである。

2

【0004】

【課題を解決するための手段】 本発明は、1枚では半透
 明であるが複数枚重ね合わせれば不透明になるように形
 成したカーテンに移動リング及び支持リングを取り付
 け、隣接する支持リング間で移動リングを移動させるこ
 とによって、カーテンを1枚の部分があるようにしたり
 全範囲にわたって複数枚重ね合わせるようにしたりする
 ことにより、上記課題を解決する。すなわち、本発明の
 ブラインドは、ヘッドボックス(10)と、ヘッドボッ
 クス(10)に上端が連結されるカーテン(12)と、
 カーテン(12)の下端に連結されるウエイトバー(1
 4)と、一端がウエイトバー(14)に連結されるとと
 もに他端がヘッドボックス(10)内に昇降可能に導入
 される昇降コード(24)と、一端がヘッドボックス
 (10)に、他端がウエイトバー(14)にそれぞれ固
 定される支持コード(18)と、カーテン(12)が所
 定のたるみが形成された状態で接続されているととも
 に、支持コード(18)に所定間隔をあけて設けられて
 いる支持リング(16)と、を有するものにおいて、移
 動リング(20)と、移動コード(22)と、を有して
 おり、移動コード(22)は、これの一端が上記ウエイ
 トバー(14)に連結されるとともに、これの他端が上
 記ヘッドボックス(10)内に昇降可能に導入されてお
 り、移動リング(20)は、上記支持リング(16)と
 交互に重ね合わせて配置されるとともに、移動コード
 (22)に所定間隔をあけてそれぞれ取り付けられてお
 り、上記カーテン(12)は、1枚では半透明である
 が、複数枚以上重ね合わせると不透明になるように形
 成されており、カーテン(12)は、支持リング(16)
 間で形成される上記たるみの所定位置において移動リン
 グ(20)に接続されている、ことを特徴とする。な
 お、上記かっこ内の符号は、実施例の対応する部材を示
 す。

【0005】

【作用】 ブラインドを外が透けて見える状態にするに
 は、まず、移動コードを操作して、移動リングを一斉に
 下方向に移動させることにより、それぞれ下側に隣接す
 る支持リングに一斉に接近させる。これにより、カーテ
 ンは1枚になる部分と複数枚重なる部分とが形成され、
 1枚の部分は半透明になり、複数枚重なっている部分は
 不透明になる。すなわち、ブラインドは部分的に半透明
 状態になるので、部分的に外が透けて見える状態にな
 る。次に、ブラインドを遮へい状態にするには、移動コ
 ードを操作して、移動リングを一斉に上方向に移動させ
 ることにより、それぞれ上側に隣接する支持リングに一
 斉に接近させる。これにより、カーテンは、これのすべ
 ての部分で複数枚重なるので、全面が不透明になる。す
 なわち、ブラインドは全面が不透明状態になるので、遮
 へい状態になる。次に、ブラインドを開放状態にするに
 50 は、昇降コードを操作してウエイトバーを上昇させる。

これにより、ウエイトバーに接触して最下端の移動リング及び支持リングから上方の移動リング及び支持リングに向かって順番に上昇していくので、カーテンもこれらとともに上昇し、上部に収納される。すなわち、ブラインドは開放状態になる。上記のように、1枚のカーテンによって部分的に半透明な状態と全体的に不透明な状態とを形成することができるため、1つのブラインドで部分的に外が透けて見える状態と遮へい状態とを構成することができる。したがって、1つのブラインドで2枚のカーテンの役割を果たすことができる。

【0006】

【実施例】図1に本発明を適用したブラインド11の全体図を、図2に図1の側面図を示す。ヘッドボックス10の下端にカーテン12の上端部が取り付けられている。カーテン12の下端部にはウエイトバー14が取り付けられている。カーテンは、一枚では半透明であるが、複数枚重ね合わせると不透明になるように形成されている。支持コード18は、これの一端がヘッドボックス10に、この他端がウエイトバー14にそれぞれ連結されている。支持リング16は、支持コード18に所定間隔をあけて取り付けられている。カーテン12は、図2に示されるように、隣接する支持リング16間及び最下端の支持リング16及びウエイトバー14間でたるみが形成されるように、支持リング16に接続されている。隣接する支持リング16間及び支持リング16とウエイトバー14との間のカーテン12のたるみの部分には、移動リング20が接続されている。移動リング20は、支持リング16と交互に重ね合わせて配置されるとともに、移動コード22に所定間隔をあけて取り付けられている。支持リング16とこれの下側に隣接する移動リング20との間のカーテン12の長さ寸法は、移動リング20とこれの下側に隣接する支持リング16との間のカーテン12の長さ寸法の2倍以上に設定されているが、全体的なバランスからみると、2.5倍前後が最も良い。移動コード22は、これの一端がウエイトバー14に連結されており、この他端が支持リング16内を挿通してヘッドボックス10内に昇降可能に導入されるとともに、これを通してヘッドボックス10の一端から導出されてウエイトバー14に連結されている。移動コード22は、これが昇降することにより、隣接する支持リング16間で移動リング20を昇降可能である。ウエイトバー14は、昇降コード24により昇降可能である。昇降コード24は、これの一端がウエイトバー14に連結されており、この他端が支持リング16及び移動リング20内を挿通してヘッドボックス10内に昇降可能に導入されるとともに、これを通してヘッドボックス10の他端から導出されてウエイトバー14に連結されている。支持コード18及びこれに取り付けられる支持リング16、移動コード22及びこれに取り付けられる移動リング20、及び昇降コード24は、1セットになっ

てカーテン12の幅方向に所定間隔をあけて複数セット設けられている。したがって、カーテン12は、この幅方向に所定間隔をあけて支持リング16及び移動リング20に接続されている。なお、図1に示されるカーテン12は、この幅方向に一直線状にたるみが形成されているが、これは紙のような強い素材を使用した場合であり、腰の弱い素材を使用した場合は、支持リング16及び移動リング20に接続されている部分が山になり、カーテン12の幅方向に隣接する支持リング16及び移動リング20の中間部分が谷になるような、波形のたるみを形成する。

【0007】次に、本実施例の動作について説明する。ブラインド11を外が透けて見える状態にするには、まず、移動コード22を下降させる。これにより、支持リング16が停止した状態のまま、移動リング20のみが一斉に下降するので、移動リング20は下側に隣接する支持リング16にそれぞれ接近する。このため、図3に示されるように、カーテン12には、5重になる部分と1枚になる部分とが形成される。カーテン12が5重になっている部分は不透明になるので遮へい部分Aになり、1枚の部分では半透明であるので外が見える半透明部分Bになる。これにより、ブラインド11は部分的に半透明状態になるので、部分的に外が透けて見える状態になる。したがって、ブラインド11は、薄手のカーテンが使用されている場合とほぼ同様の役割を果たす。次に、ブラインド11を遮へい状態にするには、図3の状態から移動コード22を上昇させる。これにより、支持リング16が停止した状態のまま、ウエイトバー14とともに移動リング20が一斉に上昇するので、移動リング20は上側に隣接する支持リング16にそれぞれ接近する。このため、図4に示されるように、カーテン12は、これのすべての部分が3重になるので、全面が不透明になる。これにより、ブラインド11は全面が不透明状態になるので、遮へい状態になる。したがって、ブラインド11は、厚手のカーテンが使用されている場合と同様の役割を果たす。次に、ブラインド11を開放状態にするには、昇降コード24を操作してこれを上昇させる。これにより、ウエイトバー14が上昇していくので、これに接触して最下端の移動リング20から上方の支持リング16及び移動リング20に向かって順番に上昇していく。移動リング20及び支持リング16がともに上昇するため、カーテン12もこれらとともに上昇し、上部に収納される。これにより、ブラインド11は開放状態になる。

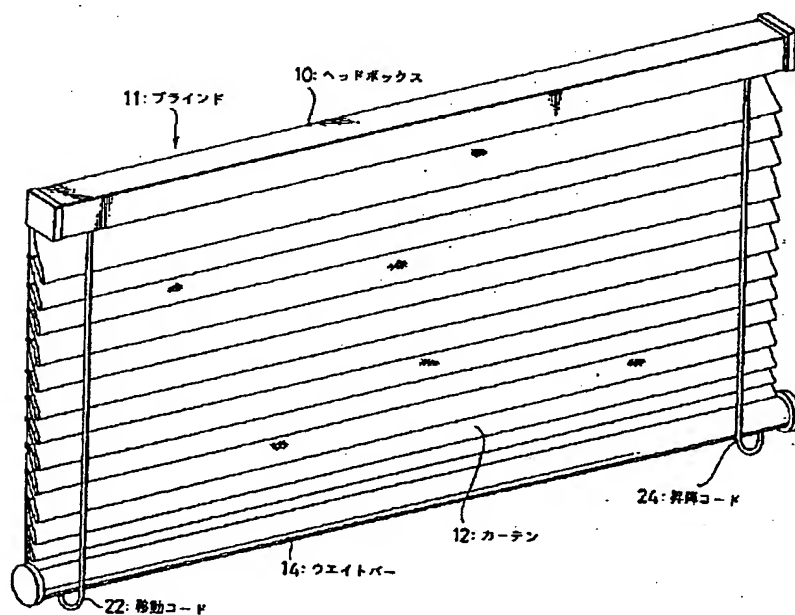
【0008】なお、カーテン12は、半透明のものであり、複数枚重ね合わせると不透明になるものであれば、布、紙などどのような素材でもよく、また、色及び柄なども好みに応じたものでよい。これにより、好みの素材、柄及び色のカーテン12を選択することにより、室内の雰囲気にあったブラインドを作ることができる。

【0009】

【発明の効果】本発明によれば、1枚では半透明であるが複数枚重ね合わせれば不透明になるように形成したカーテンを、上下方向に隣接する支持リング間を昇降可能な移動リングによって昇降させることにより、1枚の部分があるようにしたり複数枚重ね合わせるようにしたりすることができる。これにより、カーテンを部分的に半透明にしたり、全面的に不透明にしたりすることができるので、ブラインドの部分的に外が透けて見える状態と遮へい状態との切換えが可能になる。このため、今まで2種類のカーテンで構成していた外が透けて見える状態と遮へい状態とを1つのブラインドで構成することができるので、使い勝手の良いブラインドを提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】



【図1】本発明を実施したブラインドの全体図である。

【図2】図1の側面図である。

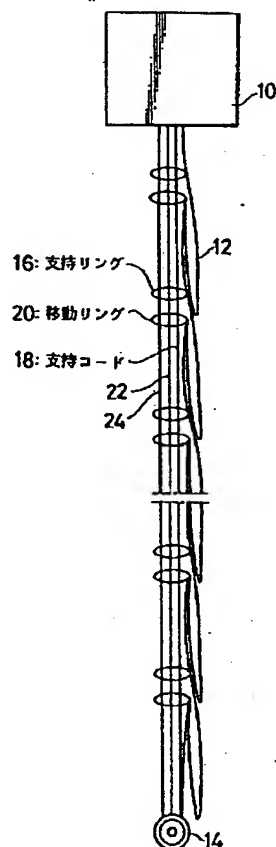
【図3】半透明部分を形成した状態を示す図である。

【図4】全面に不透明部分を形成した状態を示す図である。

【符号の説明】

- 10 ヘッドボックス
- 11 ブラインド
- 12 カーテン
- 14 ウェイトバー
- 16 支持リング
- 18 支持コード
- 20 移動リング
- 22 移動コード
- 24 昇降コード

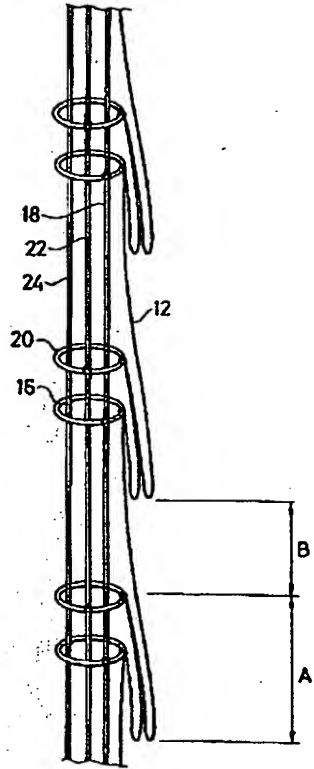
【図2】



(5)

特開平7-39449

【図3】



【図4】

